



沼澤道也 議員

これからの金山農業の方向は

回答 複合経営の継続と効率性の向上

沼澤道也議員 今年の米、野菜出荷の現状と課題は。産業課長 各集荷業者の集荷量は左表のとおりである。

集荷業者	集荷量
金山農協	約63,000俵 (前年比 800俵減)
その他	約 5,400俵 (前年比 200俵減)
計	約68,400俵
※参考:一等米比率	97.5% (金山農協)



秋の実りを収穫

沼澤道也議員 作況指数は、99.1で平年並みとなった。

沼澤道也議員 「はえぬき」の穂いもち病が目立った年である。また、酒米生産もコロナ禍で生産調整が行われた。続いて、野菜関係では、ニラが約2億3000万円、キュウリが約2700万円と、その他を合わせ当初計画の約3300万円増となった。(金山農協分) 両品目とも20〜30%近い単価高となった。

沼澤道也議員 町内農業は法人組織や大規模稲作農家の増加、担い手の高齢化等、変化が見えてきているが、今後実態調査等を踏まえて方向性を見出す必要があるのではないか。また、認定農家の育成強化も検討する必要があるのではないか。

産業課長 11/27に県より来年度の生産調整面積配分が行われ、今年度より26ha増の抑制方針が示された。

セーフティネットとして「収入保険」加入促進を

産業課長 今後の課題として、天候不順、価格の変動等、経営の安定化を守るため、国で制度化している「ナラ

加入促進を

沼澤道也議員 町内農業は法人組織や大規模稲作農家の増加、担い手の高齢化等、変化が見えてきているが、今後実態調査等を踏まえて方向性を見出す必要があるのではないか。また、認定農家の育成強化も検討する必要があるのではないか。

沼澤道也議員 町内農業は法人組織や大規模稲作農家の増加、担い手の高齢化等、変化が見えてきているが、今後実態調査等を踏まえて方向性を見出す必要があるのではないか。また、認定農家の育成強化も検討する必要があるのではないか。

沼澤道也議員 町内農業は法人組織や大規模稲作農家の増加、担い手の高齢化等、変化が見えてきているが、今後実態調査等を踏まえて方向性を見出す必要があるのではないか。また、認定農家の育成強化も検討する必要があるのではないか。

沼澤道也議員 町内農業は法人組織や大規模稲作農家の増加、担い手の高齢化等、変化が見えてきているが、今後実態調査等を踏まえて方向性を見出す必要があるのではないか。また、認定農家の育成強化も検討する必要があるのではないか。

沼澤道也議員 町内農業は法人組織や大規模稲作農家の増加、担い手の高齢化等、変化が見えてきているが、今後実態調査等を踏まえて方向性を見出す必要があるのではないか。また、認定農家の育成強化も検討する必要があるのではないか。

沼澤道也議員 町内農業は法人組織や大規模稲作農家の増加、担い手の高齢化等、変化が見えてきているが、今後実態調査等を踏まえて方向性を見出す必要があるのではないか。また、認定農家の育成強化も検討する必要があるのではないか。

沼澤道也議員 町内農業は法人組織や大規模稲作農家の増加、担い手の高齢化等、変化が見えてきているが、今後実態調査等を踏まえて方向性を見出す必要があるのではないか。また、認定農家の育成強化も検討する必要があるのではないか。

沼澤道也議員 町内農業は法人組織や大規模稲作農家の増加、担い手の高齢化等、変化が見えてきているが、今後実態調査等を踏まえて方向性を見出す必要があるのではないか。また、認定農家の育成強化も検討する必要があるのではないか。

沼澤道也議員 町内農業は法人組織や大規模稲作農家の増加、担い手の高齢化等、変化が見えてきているが、今後実態調査等を踏まえて方向性を見出す必要があるのではないか。また、認定農家の育成強化も検討する必要があるのではないか。

沼澤道也議員 町内農業は法人組織や大規模稲作農家の増加、担い手の高齢化等、変化が見えてきているが、今後実態調査等を踏まえて方向性を見出す必要があるのではないか。また、認定農家の育成強化も検討する必要があるのではないか。

常任委員会の活動報告

不登校の実態とコロナ関連は

総務文教常任委員会

問 コロナ禍での授業や不登校の実態は。

答 5月学校再開後、子供たちのメンタル部分に注視してきた。現在は普通の生活に近い形に戻ってきた。不登校(傾向含む)の生徒は、小学校5名、中学校で10名となっていて、コロナ禍の影響とは明確にはできないと思う。

問 町放送が聞こえづらいとの意見があるが実態は。

答 家の構造(気密性高い)などで、そうした意見も受けている。行政メールの活用も進んでいる。11月現在で534件の登録であり、今後普及拡大に努めたい。

問 地域経済応援商品券の2次利用と税収の関係は。

答 今までも商品券でのやり取りは実施しているため、税収への影響は少ないと思う。



行政情報放送のスピーカー

問 ドクターヘリ誘導員体制はどう考えているか。

答 事業見直しで検討されている。現在の利用回数から見ても、グリーンバレー神室の管理棟業務と兼務での体制でも対応できるのではと話し合われている。

新型コロナウイルスの相談は、かかりつけ医が第一優先

～産業厚生常任委員会～

問 新型コロナウイルスに関して、町民からの相談は。

答 熱が出た場合にはどうすれば良いのかという、発熱相談が数人いる。かかりつけ医が第一優先であり、かかりつけ医がいらない方は、金山町役場健康福祉課の窓口で案内している。

問 田茂沢、蒲沢地区のほ場整備事業の今後の進め方は。

答 県に計画が受理されただけで、採択されていない。来年度予算が確定してはじめて採択となる。令和3〜6年度まで調査設計、7年度から工事が入る予定である。

問 新型コロナウイルスの影響などによる米価下落に、10aあたり2000円が支援されるがその内容は。生産調整に加入している方を対象と考えている。飼料用米やWCS米は対象



ホットハウスカモロ

問 熊やイノシシなどの被害対策の効果は。

答 県の指導により、ほ場の周りにビニールを巻いたら効果はあった。金山町は被害が少ないため、補助事業に該当しにくい。

問 ホットハウスカモロの改築案設計などの委託先は。

答 業者選定は、宿泊施設、レジャー施設、交流人口を支える施設でもあり、総合的なアドバイスをいただけるコンサルタントを考えている。